図書室
あなた今日も寝坊したわよね
図書室の掃除をして帰るように
以上
俺の名前は田中健司18歳の高校生だ
ああ今日の宮村先生もよかったなぁ・・・
今日は寝坊した罰として
図書室の掃除を担任の宮村恭子先生に命じられ
今まさに実行しているところだ
ズッ
ズッ

実は俺は単純に
寝坊したわけではない

宮村先生に怒られるために
わざと寝坊したのだ

本来なら
理解のできないことだが
俺にとっては至福の時間なのだ

なぜなら俺は
宮村先生のことが
好きだからだ

あのクールな性格に
きつそうな目、

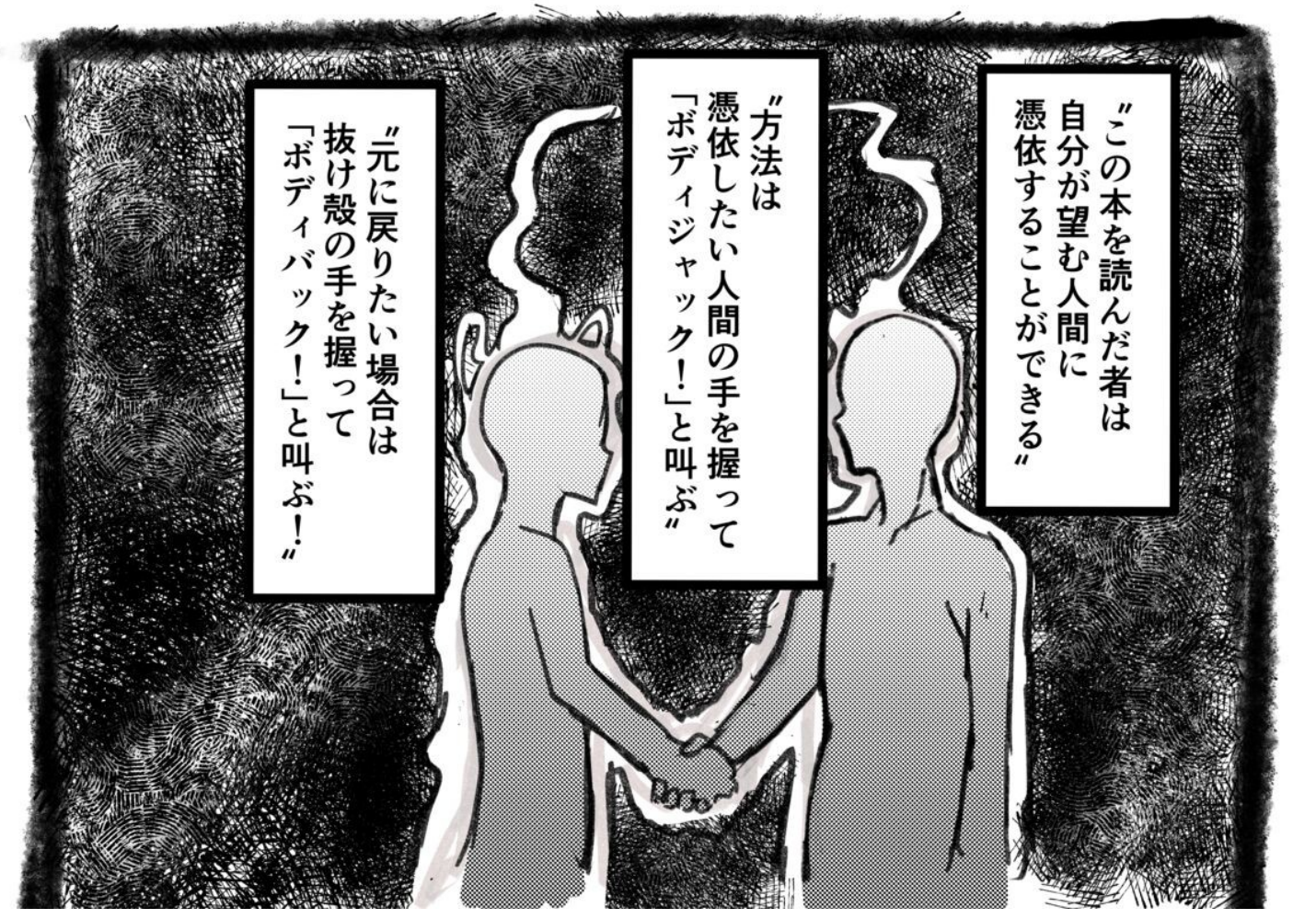
そして抜群の
スタイル

俺の性癖にぶっささりで
非の打ちどころのない

まさに俺の理想
そのままだ

――っと至福の時間お叱りタイムも終わったし
面倒な掃除なんてさっさと終わらせて帰るか
……なんだこれ？
ズズズ…

こんな本、図書室にあったか？
題名も無し、明らかにおかしい
だが気になる奇妙な魅力を感じる
ごくっ…


〝この本を読んだ者は自分が望む人間に憑依することができる〟
〝方法は憑依したい人間の手を握って「ボディジャック！」と叫ぶ〟
〝元に戻りたい場合は抜け殻の手を握って「ボディバック！」と叫ぶ！〟

おいおい
冗談だろ？

憑依だなんて
そんな・・・

もし・・・
もし本当に宮村先生に
憑依出来たら・・・

ゴク・・・

ピタ・・・・

スッ・・・

今日は金曜だし
来週試してみるか・・・！

ガラララ

翌週の放課後

ねえ？田中君？
このテストの点数は何？
本当に
やる気あるの？

あぁ…
今日の宮村先生も良い❤

でも今日は
お説教を受けるだけが
目的じゃない！

先日図書室で
見つけた
憑依の法

これの実践!!

もしこれが
ガセネタだったら
その時は
もっと怒られるだろう

だがもし成功したら…
憑依した後の準備もしたのだ
試さずにはいられない

ギリッ

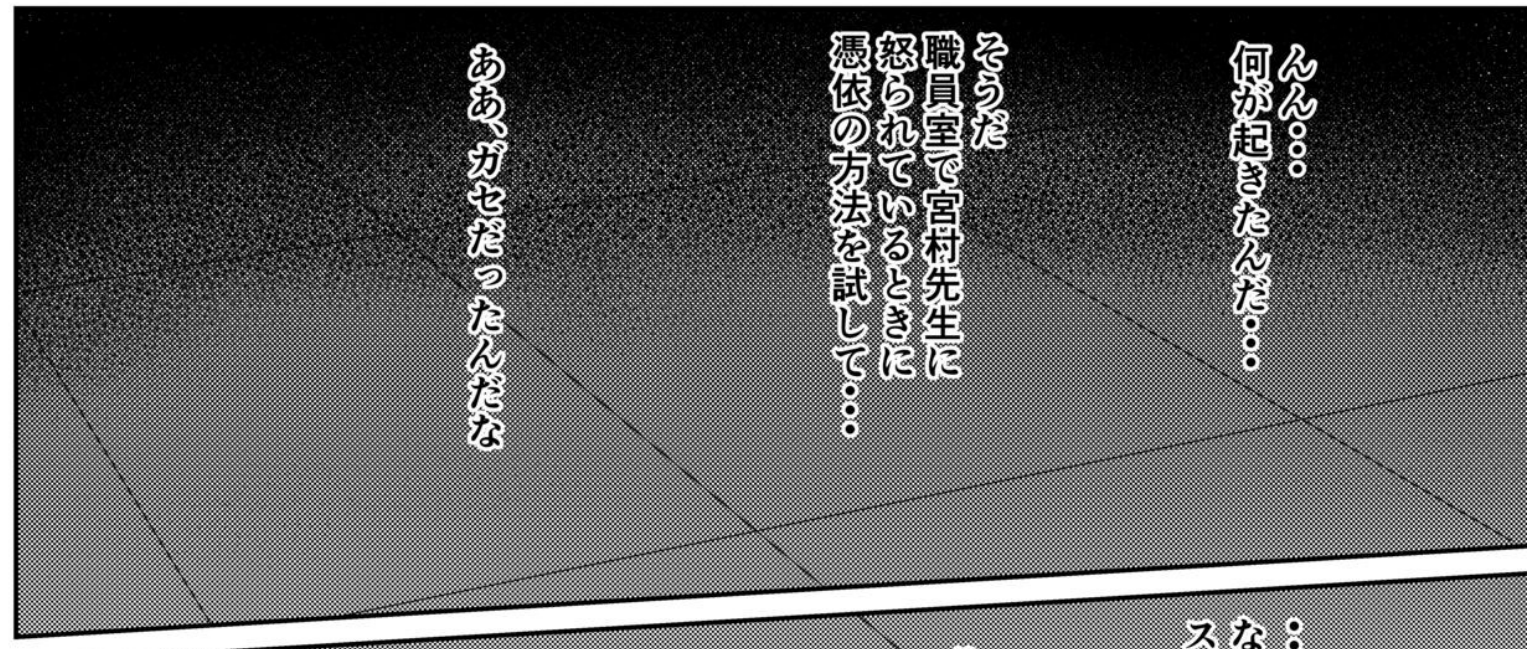
ねぇ？
田中君、聞いてるの？

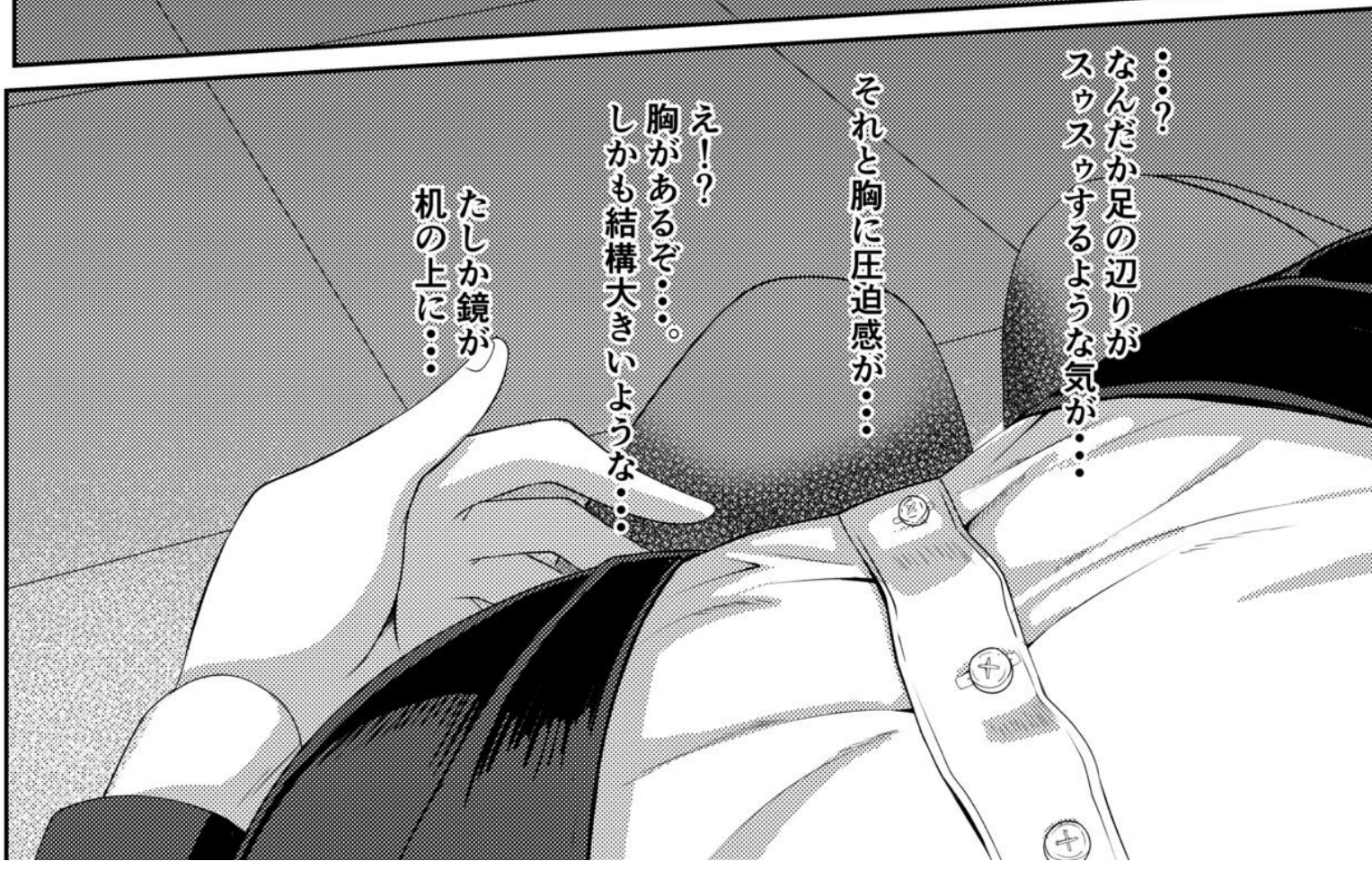
ザッ

ボディジャック！
ガッ
え？ちょ！何!?
……
……
田中君急にどうしたの…？
やっぱりな…ガセネタだったか
?
ガクッ…
?! 田中君？
う…
だいじょ…
あれ、何…意識が…
ッ?!

ズサ…

数分後


んん…
何が起きたんだ…
そうだ
職員室で宮村先生に
怒られているときに
憑依の方法を試して…
ああ、ガセだったんだな


…？
なんだか足の辺りが
スゥスゥするような気が…
それと胸に圧迫感が…
え！？
胸があるぞ…。
しかも結構大きいような…
たしか鏡が
机の上に…

俺じゃない…
宮村…先生…？

成功…
したのか!?

うおお!!
やったあ!!

これが
宮村先生の体か！

おおおおっ！

ふに

ふに

すごい
柔らかいしでかい…

これは本物だ…
間違いない！

……
ぽんっ

ない！
俺のあれがないぞぉ！
Yes！Yes

そういえば
俺の体は
どうなったんだろう？

ゴ
ロ

ぐた
ぐた

そうか
俺が宮村先生の体に
憑依したから
俺の体は
抜け殻状態なのか
ぐた ぐた
ぐた

今の学校には俺と
宮村先生しかいない
つまり
今何をしようと
それを止める者は
誰一人いない

ニッ
お楽しみと行くか・・・！

保健室
へへ
本当に宮村先生に憑依できたんだなぁ
ぷち
ぷち

お、おぉ…！
宮村先生って
紫色の下着付けてたのか！

ドキ

ドキ

はぁ…
はぁ…

先生…。

ぷちっ

ぷちっ

だめだ
もう我慢できない

すげぇ…

スーツの上からでも
大きかったけど、

こうやってみると
かなり大きいんだなぁ

ぷるんっ

ん、おっぱいを揉まれるってこんな感じなのか
ぐにっ
乳首イイ…
ん、はぁ気持ちいぃ
ぐにっ
ぎゅっ
なんだか変な気分になってくる…
これが
……ッ
宮村先生の裸…

くちゅ…
ぺろぺろ
んんっ♥
げェ…♥
すっ…
んもぉぉぉっ♥
ぐちゅ
ぐちゅ
ぐちゅ
ぐちゅ
ゆび…♥
とまらな…♥
ぽた
ぽた
はっ
はっ
はっ
…

いつもはクールな先生が

全裸でオナニーしている

やべぇ！すげぇ興奮する！

ぐちゅ♥

ぷしゅ♥

ぐちゅ♥

ぐちゅ♥

宮村先生の体が今は俺の体だと思うだけでどんどん高鳴ってくる！

ゾクゾク♥

イ…クッ…♥

イクッ！
ぶるっ
イクッッッ！
ぶしゃあ
イクッ！
宮村先生の！
俺のおまんこ！
ぶるっ
ハァ…
ハァ…
これが女としてイった感覚か…
ぶるっ
はっ
はっ
はっ

AVで見た時から
くぎ付けだったんだよなぁ
この衣装
宮村先生が着たら
絶対に似合うと思っていた
さぁて
俺の夢を叶えさせてくれよ
宮村先生
カチャ
カチャ
ぐりっ
ぐっ
ぐっ
ギュッ

すげえ・・・
これ、本当に
宮村先生なのか・・・？
バキ
バキ
さてと
そろそろ本番と行こうか

さっそく始めるか
まずは勃起させないとなぁ
ジ
意識ないけど勃起するのか？
しゅこ
しゅこ
ムク
ムク
おお勃ってきたぞぉ…
でもまだ足りないな…
ちょっと抵抗あるけど口でもしてみるか
?!
ぷっ…

口の中に広がる生臭い匂い

舌の上に広がる何とも言えない味

喉奥にまで入ってくる異物感

すべてが不快なはずなのに

んっ

んんっ

ぐぷっ♥

じゅぷっ♥

ぐぷっ♥

じゅぷっ♥

心地いい…

くぷっ…

もっと…奥に

ぐぷぷぷっ…

ぐぷぷぷっ…

ぐぽっ
ぐぽっ
ぐぽっ
ぐぽっ
ぐぽっ
ぐぽ
イぐっ
おごっ
おごっ
ぷはっ
もう十分だろう…

俺が憑依してやりたかったこと

それは宮村先生の体でボンデージ衣装を着てのセックス

それじゃ早速やるかぁ・・・

ズ

くちゅ…

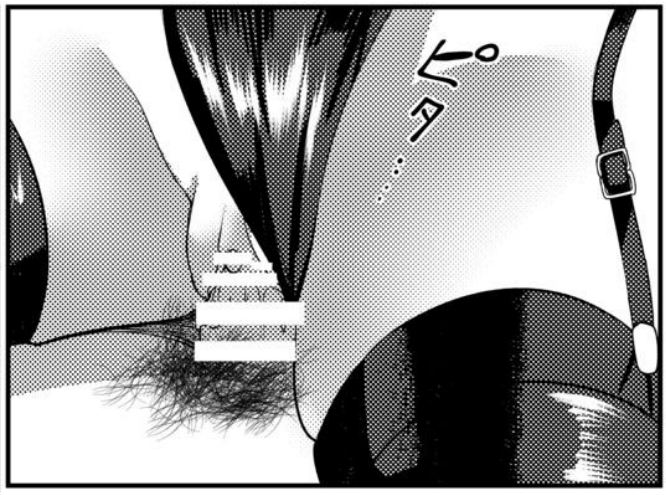
ああぁ！入ってきたぁ！

ズブブ

おおおぉぉん!!♥

びくっ

すごいい！
これが女の感覚なのか！
ぱんっ
ぱんっ
ぱんっ
ぱんっ
んあっ♥
ぐちっ
ああぁん!!
ああっ！
いいっ!!
おっ♥
……ッ
ぱんっ
気持ちいいい!!
ぱんっ



せっかくだし宮村先生に成りきって雰囲気出してみようかな
・・・・・・
オホン
ねえ田中君？
私と、憧れだった宮村恭子とセックスしている気分はどう？
・・・・・
何？だんまりなの？
さっきから私にだけ動かさせてずいぶんいいご身分ね
ほら何とか言いなさいよ！
私、本当は田中君のこと好きだったのよ？
だからこんな女王様みたいな恰好までしてあげたのに・・・
ぐりっ
はぁ・・・もういいわ
あなたは私の体だけが目的だったってことね
それなら
ぱっ
ドサッ
女王様らしくあなたにお仕置きしてあげるわ
覚悟しなさい

黙ってないで喘ぎなさいよ！
ほら！
ほらぁ!!
へぇ？これでも動じないのね
なら
ぱんっ
ぱんっ
ぱんっ
ぱんっ
これならどうかしら！
キュ♥
キュウウウ♥
ぶぐっ
ぶぐっ♥

あら？
手ごたえありね

そうやって素直に
反応すればいいのよ

ぐりっ♥

ぐりっ♥

びくっ♥

びくっ♥

当たり前だが
抜け殻の自分を
いくら煽っても
言葉は帰って来ない

だが宮村先生の口調で
自分を煽っている
とどんどん興奮が
高まっていった

言葉攻めをするたびに
ゾクゾクし
着ているボンデージの
締め付け感が
最高に心地いい

ぱんっ

あっ♥

はっ♥

ぱんっ

ぱんっ

俺はこの時間に
人生の中で一番の幸福
を感じていた
ゴリゴリ
はっ
あっ
ぱんっ
ぱんっ
ぱんっ
はぁんっ
ゾクゾクゾク

なんだ今の…？

はっ

?!

今までにない快感が電流のように…ッ

もう一度…

ぶるるっ

ブシャッ

くちゅ…

ズズ…

これやべぇ！

気持ちよすぎるぅ！

ぞくっ

ぞくっ

ばすんっ
いつの間にか俺は先生に成りきるのをやめただひたすらに快感をむさぼっていた
おっ♥
おっ♥
んっ♥
おおっ♥
ぱちゅん♥
ずちゅ♥
ずちゅ♥
快感でおまんこが締め付けられるたびに抜け殻のちんこもその質量を増していく
また…大きく…♥
ずちゅ♥
ずちゅ♥
ぱんっ
宮村先生の体も俺の抜け殻ももう限界はすぐそこまで来ていた
ぱんっ
ぱんっ
あ！イ、イクッ！
宮村先生の！
俺のおまんこ！
イクッ！
イクッッ!!

ビクビクッ
ビクッ♥

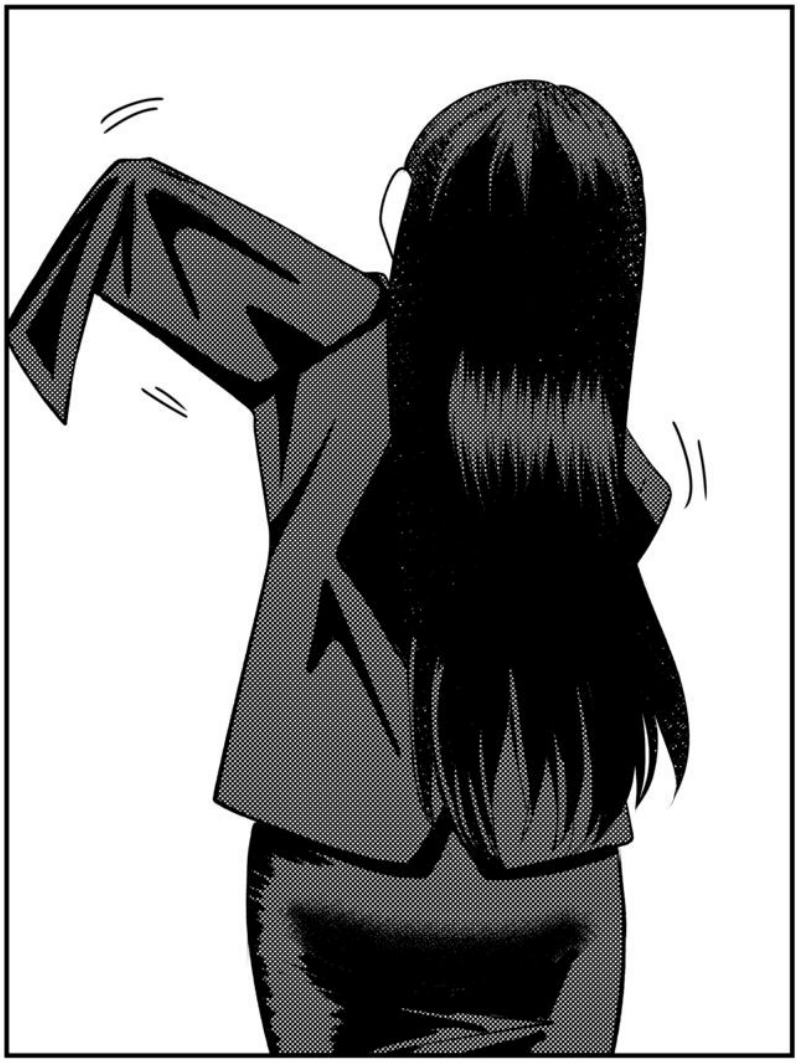
びゅるるるっ♥
びくっ
びくっ♥
ビクッ
ビクッ
ビクッ

ふぅ…そろそろいいか

ゴポ…

ドプッ

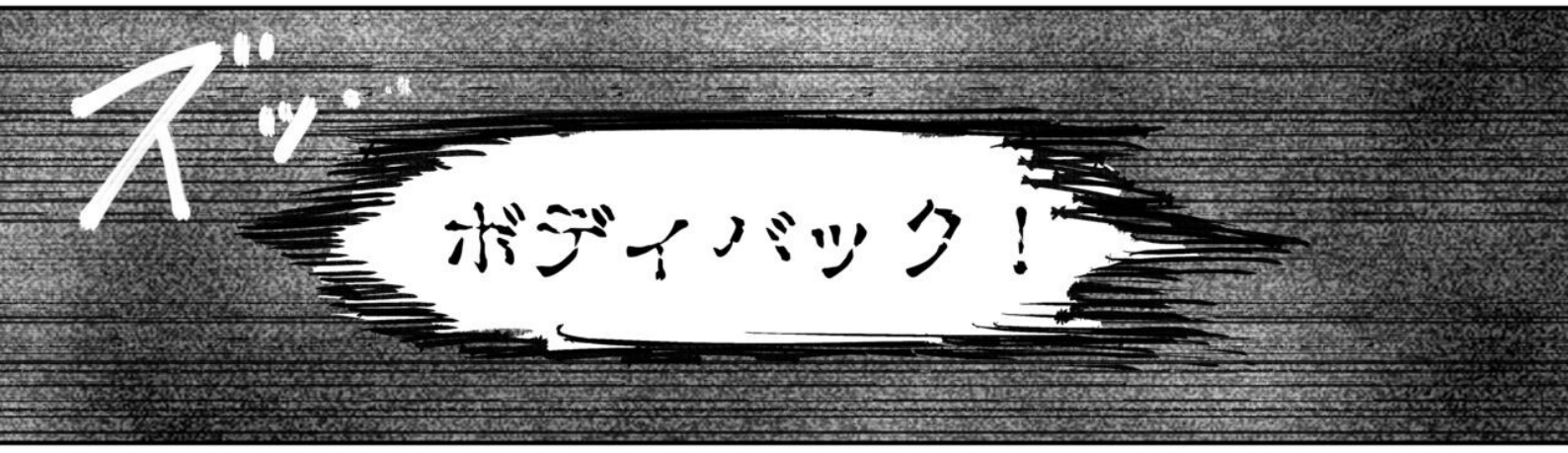
おっ♥溢れる♥



♪

これでよしっと
さて
片付けるか

最高の思い出になったよ
宮村先生


ズッ
ボディバック！

数週間後

あぁん！

俺はあれからもいい体の女性を見つけては憑依しオナニーをしていた

ぴくっ

ぴくっ

はぁっ

イイ！鍛えられたJDの体さいこぉ！

れろっ

あっ

くちゅっ

くちゅっずちゅっ

あんっ

今回はジムで知り合った女子大生だ

彼女の体は筋肉質で引き締まっていてとてもエロい

おっぱいもかなり大きい方だ

ビクッ
ビクッ
あ！
イク！
ジャアア
イクウウウウ！
こうして今日も
女体で絶頂を迎えた
ビクッ
ガク
オナニーは
最高に気持ちいい
だがいくら
女体に憑依して
オナニーしても
俺の心は満たされなかった
はっ
はっ
はっ
はっ
はっ
やっぱり俺には・・・

宮村先生

田中君？どうしたの？

今日はあなたのこと呼んでいないのだけれど

……

あぁやっぱり

俺にはこの体しかない

ズズ……

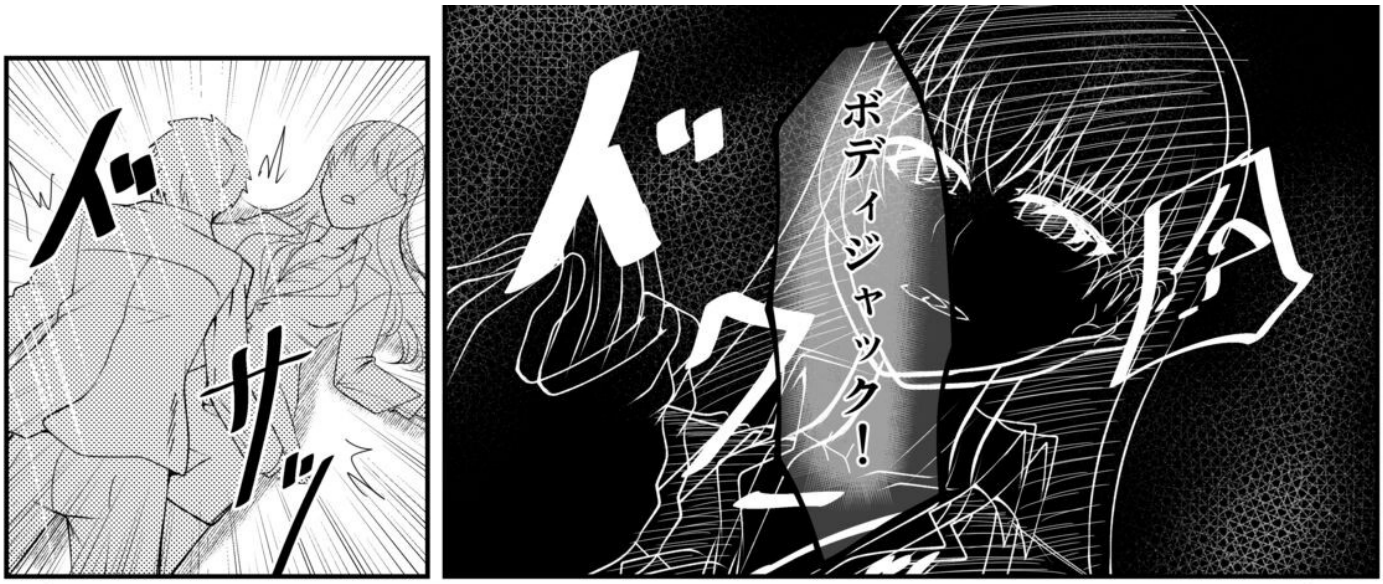
ねぇ、あなた人の話聞いてる!?

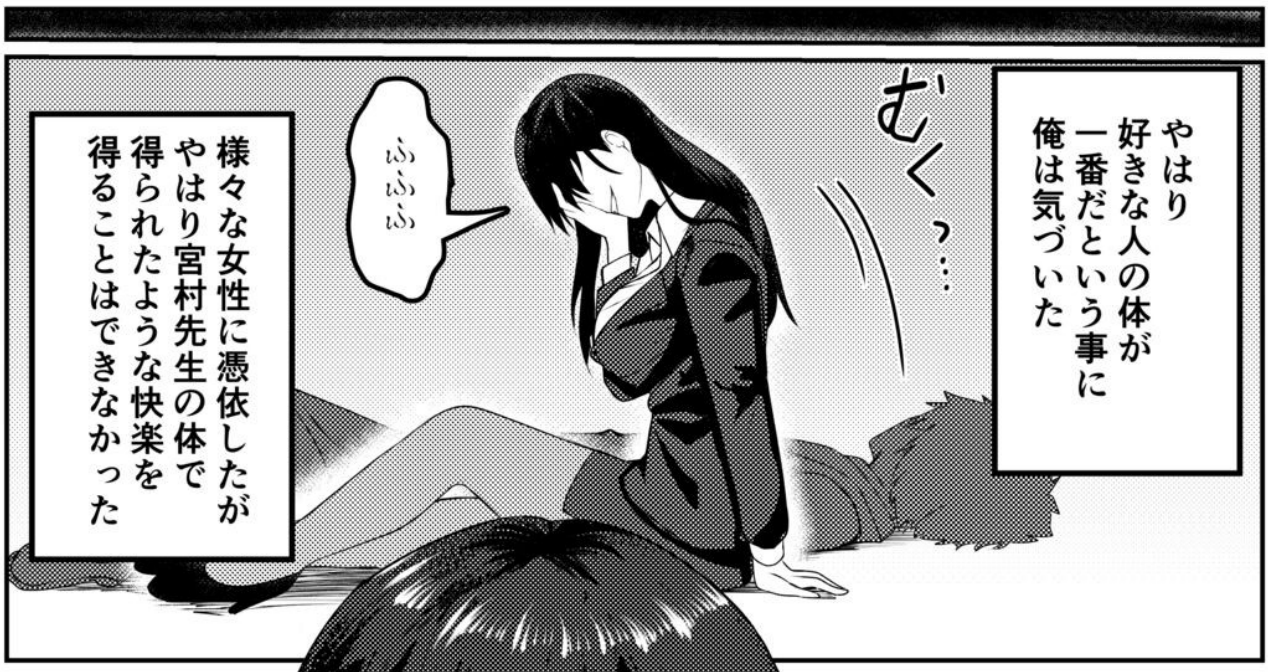
え！ちょ！

メガ

宮村先生、すいませんやっぱ俺には先生しかいないです

はぁ？ちょっと何言って…


ボディジャック！
ズクン
ズザッ


やはり
好きな人の体が
一番だという事に
俺は気づいた
むくっ…
ふふふ
様々な女性に憑依したが
やはり宮村先生の体で
得られたような快楽を
得ることはできなかった

俺にはこの体
宮村恭子の体が
一番なのだ
さぁて
何をして楽しもうかな
--end--